

まつど議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。



第72代副議長
すずき だい すけ
鈴木 大 介



第70代議長
すぎやま よしひろ
杉山 由 祥

議長・副議長 就任のご挨拶

市民の皆さまには、平素より市議会に対しましてご理解とご協力をいただいておりますことに、心より御礼申し上げます。私たち両名は、令和4年11月臨時会におきまして議長・副議長に就任いたしました。

松戸市政が適切な方向に進むよう、最終意思決定機関として二元代表制の一翼を担う議会内の合意形成を図る調整役として職責を全うしてまいります。そのためには、44名それぞれの議員が負託された民意への敬意を忘れず、個々の議員の能力と経験を最大限生かせるワンチームとなる「チーム松戸市議会」として機能する議会を目指してまいります。

松戸市議会は若い世代が増えました。先人達が紡いできた歴史を重んじながら、ポストコロナの松戸新時代にふさわしい議会の在り方を追求するため不断の改革を進めてまいります。

新しい景色を目指してまい進する第21期松戸市議会議員の活動にご期待をいただき、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

子どもミュージアム

来館されたみなさんに、松戸の貴重な歴史資料を見ていただくことはもちろんですが、昔の道具を実際に使ったり、パズル遊びなどさまざまな体験を通して、歴史を知る楽しさを感じていただけます。

会期：令和5年3月26日(日)まで

●問い合わせ先

市立博物館
TEL 047(384)8181



博物館
ホームページ



子と清水遺跡出土の深鉢形土器



土器パズルにちょうせん!



「うきよえ」ってなに?

市議会 トピックス

松戸市議会新体制スタート

令和4年11月20日に行われた市議会議員選挙で44人の議員が決まりました。

※2面に会派別一覧、3面に各委員会、8面に特別委員会の構成を記載しています。

飲酒運転根絶に関する決議

令和3年6月、千葉県八街市において、学校から下校途中の小学生の列に酒気を帯びた運転者が運転するトラックが突っ込み、児童2人のかけがえのない尊い命が奪われ、3人が重篤となる痛ましい事故が起きた。

また、令和4年3月には、本市高塚新田においても飲酒運転の軽自動車が発車していた女性と衝突し、死亡させる事故が発生している。

このように、飲酒運転が社会的な問題となり、その危険性や違法性が再三にわたって指摘されているにもかかわらず、飲酒運転による交通事故が依然として後を絶たない現状がある。

飲酒運転は、交通死亡事故に直結し、尊い命が奪われかねない、極めて悪質・危険な行為であり、決して許されるものではない。

飲酒運転の根絶を図るためには、市民一人ひとりが飲酒運転の違法性、事故発生の危険性、事故による責任の重大性などを再認識し、家庭、職場、そして地域社会全体が一体となって、飲酒運転の根絶に向け行動することが重要である。

よって、本市議会は、市民の安全で安心な暮らしを守る立場から、改めて交通安全意識の徹底を図るとともに、市をはじめ関係機関・団体との連携を強化し、飲酒運転の根絶に向け努めていくことを、ここに決議する。

千葉県松戸市議会

12月定例会

令和4年12月定例会を12月7日から12月23日まで開催しました。

今定例会では、市長から提出された補正予算を含む一般議案15件を、それぞれの委員会において審査しました。

最終日には、これらの案件のほかに市長から提出された追加議案1件、議員提出議案9件を上程し、採決しました。

また庁舎整備に関する特別委員会の設置および委員の選任、さらに委員長、副委員長の互選を行いました。

なお35人の議員が市政に関する一般質問を行いました。

(2面に審議結果、3面に主な質疑を掲載)

11月臨時会

令和4年11月28日に改選後初めての招集となる臨時会を開催しました。

はじめに議長、副議長の選挙を行い、続いて各委員会の委員を選任し、その後委員長、副委員長の互選を行いました。

また市長から提出された専決処分1件の報告を承認し、議会選出監査委員を選任する議案2件にそれぞれ同意しました。このほか千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員の選出を行い、閉会しました。

(2面に審議結果、3面に各委員会の構成を掲載)

11月臨時会・12月定例会審議結果

■賛否など態度が分かれた市長提出議案

賛否などの態度決定に至った理由等は、市議会ホームページに掲載しています。

Table with columns for item number, name, committee, council result, and individual council members (市民クラブ, 公明党, はじめの会, 日本共産党, 立憲民主党, etc.).

○：賛成 ×：反対 ー：採決時に議場にいなかった者 議長は表決に加わらないため「/」と表示しています。

■全会一致の市長提出議案

Table with columns for item number, name, committee, council result, and individual council members for unanimous council proposals.

■動議・議員提出議案

Table with columns for item number, name, committee, council result, and council decision for motions and member proposals.

会派別一覧

松戸市議会では、3人以上で構成する団体を会派としています。

Table for 市民クラブ (13 members) listing members and their names.

Table for 公明党 (10 members) listing members and their names.

Table for 政策実現フォーラム・社民 (4 members) listing members and their names.

Table for はじめの会 (5 members) listing members and their names.

Table for 立憲民主党 (3 members) listing members and their names.

Table for 無所属 (湯浅文) listing member and name.

Table for 無所属 (鳴原舞) listing member and name.

Table for 無所属 (中村典子) listing member and name.

Table for 無所属 (山中啓之) listing member and name.

Table for 無所属 (大橋博) listing member and name.

議員定数 44人 (令和4年11月28日現在)

委員会の審査から

12月16日・19日・20日・21日に各委員会を開催し、提出された議案について審査しました。
ここでは、その審査の中での主な質疑・答弁（要点）を掲載します。（審議結果は2面に掲載）

総務財務常任委員会

議案第44号 令和4年度松戸市一般会計補正予算（第7回）

問 GPS端末の購入補助について、補助額の積算が対象児童の1割に満たないが、当該事業を政策決定した経緯を伺う。

答 GPS端末は子どもの位置情報が把握できることで万が一の時に迅速な対応が可能となるため、さらなる安全・安心に資する方策の一つと考えている。一方で子どもの人権やプライバシーへの配慮等、さまざまな理由からGPS端末を必要としない家庭もあると考えられる。これらを踏まえて、現在行っている見守り活動等の継続とともに、万が一の危機に対応するために

総合的な安全対策のさらなる強化が急務である。今後他市の実績を参考にしながら、本事業を展開していきたいと考えている。

問 小中学校給食管理運営事業について、アレルギーを持つ児童生徒は弁当を持参しているが、補助の対象となるのか伺う。

答 給食を喫食し、学校給食費を負担している世帯を対象としており、食物アレルギーを理由とした弁当持参者への支給は想定していない。食物アレルギーを理由に家庭から弁当を持参する場合については、年間を通しての弁当の持参やアレルギー食材が含まれる献立の日のみ弁当を持参など、さまざまなケースがあるため、今後どのような対応ができるか検討していきたいと考えている。

健康福祉常任委員会

議案第45号 令和4年度松戸市病院事業会計補正予算（第2回）

問 市立総合医療センターの用地購入費について、現在同センター用地の約80%が借地とのことだが、地権者の人数を伺う。

答 同センター用地に関わる地権者は、令和4年度当初においては26名で、今回の用地購入により25名になる予定である。

問 病院用地取得費用の財源となる企業債の利率が4・5%以内となっているが、その範囲内に収まるか見通しを伺う。

答 今回は期間が長期であるため、地方公共団体金融機構資金で申請する。4年11月の金利は1・2%だが、借り入れ時期

により変動する可能性がある。

議案第57号 指定管理者の指定について（松戸市北山会館）

問 指定管理者候補者審査委員会が答申するにあたり、審議の上ではどのような点が重要なポイントとなったか伺う。

答 審査委員会ではさまざまな観点から審議がなされたが、ポイントとして、利用者は近い方が亡くなるためであり高齢者が多いという状況を踏まえた対応を求める意見が多かった。

問 5年度の管理代行料は、4年度と比べ125万4千円増額となっているが、その理由を伺う。

答 主な増額項目は需用費、消耗品費、燃料費、光熱費などで、物価上昇を見込んだ増額と聞いている。

教育環境常任委員会

議案第53号 松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

問 狂犬病予防法の特例制度に市が参加するメリットを伺う。

答 犬の飼い主は市役所の窓口に向かず登録手続きができる上、犬鑑札の交付も受ける必要がなくなることから負担軽減につながる。また市にとっては、指定登録機関の日本獣医師会から、犬の登録に必要な情報が送られ、システムに取り込むことで登録が完了することから、業務効率の向上が図られる。

問 指定管理者の次期指定となる今後の4年間における新たな取り組みや期待する取り組みについて伺う。

答 NPO法人や市民活動団体向けの講座の一つとして、支援や配慮を必要とする人が市民活動をする主体として参加できるように、受け入れる側の準備方法や考え方を学ぶ「受け入れ力アップ講座」や、テーマごとに開催していた講座を経験やスキルに応じた対象ごとに設定するなど、新たな講座が提案されている。また、まつどボランティアアカルテという顧客管理システムを導入し、ボランティア希望者の過去の活動履歴や活動先の受け入れ状況等を記録することにより、さらに精度の高い相談対応を目指す提案もされている。

建設経済常任委員会

議案第54号 松戸市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について

問 相隣関係におけるライフラインの設備設置権等に関する規定の整備が行われた改正民法が、令和5年4月1日に施行される。民法の改正に伴い松戸市水道事業給水条例が改正され、給水装置の新設等の申し込みに

おいて、他人の土地や設備を使用する場合に、得なければならぬ利害関係人からの同意を不要とし、事前通知とすることに

より、所有者不明の土地等があった場合は大変有効になると考

える。一方で、土地の所有者がはっきりしている場合には、事

前通知だけで給水装置が新設されれば、土地所有者間でトラブルになることが懸念される。このようなトラブルは避けていきたいが、市の見解を伺う。

答 松戸市水道事業給水条例の一部改正に併せて、松戸市水道事業給水規程の改定を行い、民法を順守する旨の制約事項を規定に設けて、土地所有者間のトラブルが発生しないよう努めていく。

問 松戸市では千葉県営水道での給水人口の方が多いが、県営水道でも同意を必要とする規定を削除するために市と同様の条例改正を行うのか伺う。

答 県営水道については条例上において、同意を必要とする規定がないので、条例改正はなしものと考えている。

委員会の新しい構成が決まりました

総務財務常任委員会	健康福祉常任委員会	教育環境常任委員会	建設経済常任委員会	議会運営委員会
委員長 石井 勇 副委員長 高橋 伸之 委員 田中 睦生 井出 昌子 D E し 子 岡本 優一 大谷 茂範 宇津野 史行 二階堂 剛 飯箸 公明 市川 恵一	委員長 鈴木 智明 副委員長 渋谷 剛士 委員 湯浅 文 嶋原 舞裕 石塚 善昭 西山 正子 伊東 英一 工藤 鈴子 箕輪 信矢 深山 能一	委員長 松尾 尚子 副委員長 中村 典一 委員 嶋村 新光 柿沼 利子 丹呉 頭太 大和山 友 戸張 友 増田 友 岩瀬 友 鈴木 友 末松 友	委員長 大塚 健児 副委員長 鴈野 満春 委員 芦田 優斗 広瀬 計恵 ミル 啓之 山根 ジョー 関原 裕一 大橋 博幸 織原 正由 杉山 幸祥	委員長 渋谷 剛士 副委員長 織原 正計 委員 ミル 野計 鴈松 尾尚 大塚 塚健 大谷 茂範 二階堂 裕二 飯箸 公明 末松 裕人

※常任委員と議会運営委員の任期は、委員会条例により2年となっています。 (令和4年11月28日現在) (令和4年12月2日現在)

一般質問

12月定例会では、12月8日・9日・12日・13日の4日間
にわたり、35人の議員が市政に関する一般質問を行いました。
その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

※議長・副議長および議会選出監査委員は、一般質問を行っておりません。

一般質問の発言時間短縮について

今定例会においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
一般質問の発言時間を通常60分から25分に短縮することを議会運営
委員会で決定しました。

地域内の移動について

公明党

丹呉 顕子

問 グリーンスローモビリティの4週間の試行運用では、ドライバードル等がハードルとなる印象があった。市内各地へ推進するためには1日単位など、短期間のお試し運行が必要だと思いが本市の考えを伺う。

答 事業を広く普及していく上で、1日単位での体験は有効と考えている。実証調査用に車両を貸し出していない期間や導入している地域からの車両貸与が可能な場合には、希望する地域での1日単位の試乗体験会を行えるよう、柔軟に調整するよう指示していく。ただしドライバードルや車両が常時確保できるわけではないことなどの課題もあり、関係機関との調整の上、可能な範囲の対応となる。

国有地取得について

日本共産党

ミール 計恵

問 市役所移転建て替えについてはゼロベースで検討中であるが、令和5年3月下旬に財産取得議案の上程を予定しているとのことである。当該議案の購入の利用目的を伺う。

答 4年8月3日および9月

8日の公共施設再編検討特別委員会の中で「新拠点ゾーンへの移転建て替え案が最良である」旨を説明した。また9月1日には松戸市庁舎整備検討委員会からの中間答申において、新庁舎の上限面積が示されており、新拠点ゾーンへの移転建て替えが可能であることも確認できた。以上のことから、取得等要望書と同様に、利用目的は「市役所用地」として提案したいと考えている。

千駄堀地区のまちづくりについて

公明党

高橋 伸之

問 本市の要となるJR武蔵野線の新駅設置を含めた新たなまちづくりが検討されている千駄堀地区について、現時点の進捗と本市が目指す同地区の未来予想図を伺う。

答 千駄堀地区のまちづくり

については、平成31年度松戸市一般会計予算の大型事業に関する決議を踏まえ、事業の進め方を見直し住民参加型のまちづくりを取り入れ、将来の方向性を検討している。令和4年度は、地権者を対象とし、同地区の将来像などをテーマに意見交換会を実施した。5年度以降も引き続き意見交換会等を実施し、地権者とともに望ましい将来像やその実現方法について深度化を図っていききたい。

結婚新生活支援事業の拡充について

公明党

鈴木 智明

問 婚姻件数や出生数の減少が進む中、国・千葉県では少子化対策の充実拡大が図られている。本市では令和3年度から結婚新生活住宅支援補助金を実施しているが、結婚の後押しや定住化促進のきっかけとして有効

な本補助金の支援対象を、拡充する考えはないか伺う。
答 本補助金は大変好評で、多くの方が利用している。本市では、現在の制度でも国より年齢要件を拡大しており、4年度より国の制度に合わせリフォーラムも補助対象としている。5年度は、実績や国の動向を踏まえ予算の拡大を検討している。今後千葉県が県主導型市町村連携コースを導入した場合、関係部署と連携を図るよう努めていく。

子育て応援の拡充について

公明党

飯著 公明

問 子ども医療費助成制度について、現物給付を高校生年齢相当分まで拡大できないか。また保護者が市内でも子どもが市外へ転出している場合は助成対象外だが、見直す考えはないか。

答 子ども医療費高校生年齢

相当分の現物給付化については、千葉県に要望していたところ、県の事業担当者説明会で受給券の発行対象年齢を18歳年度末までとすることを検討していると示されたところである。引き続き県の動向を見極めながら、前向きに検討していく。また子どもが市外へ転出している場合への拡充についても、制度変更に当たり重複支給とならない仕組み作り等課題の解決が求められるが、前向きに検討していく。

災害時の情報伝達手段の拡充について

公明党

松尾 尚

問 災害時防炎情報電話サービス導入に向けての検討状況は、また対象者については制限することなく全ての市民とすべきと考えるが市の見解を伺う。

答 災害時防炎情報電話サービスについては、先進自治体の

取り組み事例の検討に併せ、既存のシステムとの互換性、連携性および有益性など、調査・研究を重ね、災害情報の伝達に有効な手段であることを再認識したところである。固定電話やファクスとともに、さらに携帯電話やスマートフォンなども対象に加え情報を迅速かつ確実に伝達できるよう努めていく。逃げ遅れを防ぎ、誰一人取り残さない防災の実現に向け、早期の導入を引き続き検討していく。

六高台地域のさくら通りの根上がりについて

公明党

芦田 満春

問 松戸市都市計画マスタープランでも桜並木の再生を取り上げており、街路樹をどう生育させるかは大変重要であると思いが①桜の木を新しく植える際、根上がりしない対策を行っているか②すでに根上がりした樹木

に対し、今後どのような対策が必要と考えるか伺う。
答 ①歩道の地表近くに根が伸びにくくなるよう、植栽スペースの周囲に「防根シート」を設置している②現状では必要に応じて根を切断して舗装修繕しているが、街路樹の生育を妨げない方策を検討していく。関係部署と協議のもと「街路樹の植栽・管理に関するガイドライン」を策定し道路の安全性の確保を目指していく。

松戸市安全で快適なまちづくり条例に係る喫煙の禁止等について

はじめの会

岡本 優子

問 「重点推進地区の公共の場所においては喫煙をしてはならない」と条文に明記されているが、徹底されているか。また重点推進地区内における今後の路上喫煙対策について伺う。

答 重点推進地区を定めた平

成17年の喫煙率は0.69%、令和4年調査では0.03%であった。喫煙等をした者に課す過料徴収は平成18年度1602件、令和3年度597件と減少しており、路上喫煙対策の効果は出ていると認識している。しかし依然として重点推進地区内での違反行為がなくならないため、今後の対策として路上喫煙禁止の周知徹底と指導監視員による取り締まり強化を図るとともに、効果的な進め方を検討していく。

教職員の未配置問題の改善に向けて

日本共産党

嶋村 新一

問 教職員未配置問題は、国が2000年以降進めてきた行財政改革や義務教育学校の教職員給料等の国負担の減額といった政策的な要因で起きていますと認識している。そこで、現状の認識と改善策について伺う。

答 教職員の未配置問題は、本来千葉県教育委員会が対応すべきだが、市教育委員会としても現状を大変危惧しており、教職員の業務負担軽減を目的としてスタッフ・補助教員を雇用している。さらに学年担任制や教科担任制による、教育活動の充実などが推進できるシステムを研究している。また今後も、講師の任用を県教育委員会に強く要望していくとともに、本市でできる取り組みを進めていく。

2025年東京デフリンピックについて

公明党

井出 昌子

問 デフリンピックは4年1度、世界規模で行われる聴覚障害者のための総合スポーツ競技大会であり、ろう者アスリートとの交流や、デフリンピックへの理解の場は本市の子どものちの大きな財産になると確信し

ている。子どもたちの学びの場にしてほしいが、現在の本市の取り組みや今後の考えを伺う。答 現時点で具体的な取り組みはないが、隣接する東京都が会場になることや東京2020大会のレガシーを発展させる上で意義深い大会となるため、引き続き動向を注視していく。松戸市スポーツ推進計画でも、障害者スポーツを振興する取り組みを位置付けており、同大会の機運向上に努めていきたい。

子どもの貧困対策について

はじめの会

石塚 裕

問 第2期松戸市子どもの未来応援プランに記載の「アウトリーチ型支援の強化」については、行政側から主体的に関わっていくことが求められるが、本市の具体的な取り組みを伺う。

答 本市の具体的なアプローチについては①児童扶養手当受給者への郵送物に子ども食堂の案内を同封し、ニーズが見込まれる利用者に周知する②イベントや子育てに役立つ情報を適時LINEで配信している③地域の支援者に貧困対策の周知・啓発を行い、子どもたちを適切な支援につなげるため、子どもの貧困対策早期発見支援ガイドブックを作成・配布する等、適切な支援が必要とする人に届くよう取り組みを行っている。

スポーツ施設について

はじめの会

柿沼 光利

問 スポーツ施設の新設および既存スポーツ施設の環境改善や整備など、今後の進め方について本市の考えを伺う。

答 多様なスポーツ環境整備の必要性は強く認識しており、アーバンスポーツ施設のほかに

サッカー、ラグビーの大会などができるグラウンド、健康づくりや子どもたちのスポーツ環境の充実など、新たな施設整備について今後検討していく。また既存のスポーツ施設についても、松戸運動公園をはじめ各施設の老朽化に対応した改修や整備を順次進めており、令和4年度に策定した松戸市スポーツ推進計画に基づき、市民の誰もがスポーツに親しめるような施設整備と改修を進めていきたい。

ごみ処理施設の多機能化について

はじめの会

田中 睦生

問 ごみ処理施設について、防災訓練センター機能や、平時時にスポーツ合宿施設で災害時に避難所施設として宿泊機能をもつ施設の有無を伺う。

答 現在、本市では新焼却施設に関する環境影響評価等の実施に向けた準備を進めており、新焼却施設に併設する利便施設の在り方等についても、今後の新焼却施設整備の進展に合わせて検討していく。そのため防災訓練センターや災害時に多機能避難所施設となるスポーツ合宿施設等の併設の可否については、現在のところ回答はできかねるが、今後建て替えを検討する際は地元の意見を伺いながら、地域に貢献できる施設を検討していきたいと考えている。

ゲノム編集したトマトについて

政策実現フォーラム・社民

増田 薫

問 ゲノム編集技術は、新たな治療技術の創出や環境問題への貢献など、さまざまな分野での応用が期待される一方、狙った場所以外の塩基配列が変異するなどの危険性を指摘する声もある。ゲノム編集キャバトマト

の苗は、障害児施設や小学校への無償配布も計画されているそうだが、本市に小学校の教材として、寄付の申し入れはあったか。また今後の取り扱いについての認識を伺う。答 現時点では、ゲノム編集したトマトの苗を、小学校に無償配布したいという寄付の申し入れはない。ゲノム関係は現段階ではわからない部分も多いため、教育委員会では教材としての受け入れは考えていない。

粗大ごみ収集のインターネット予約について

公明党

伊東 英一

問 一般家庭から粗大ごみを出す場合、電話で予約をして、指定した日と場所に粗大ごみ処理券を貼って出しているが、インターネットで予約できるようになれば市民の利便性が向上し、収集も効率的にできると考える

が市の見解を伺う。答 インターネット予約は、混雑時の電話接続待ち時間の解消、休日・夜間の時間外受付が可能になるなど、市民の利便性の向上に大きく寄与すると認識している。粗大ごみの清掃施設への持ち込みは、すでにインターネット予約を開始しており、戸別収集についても「松戸市オンライン申請基盤システム」によりインターネット予約ができるよう準備を進めていく。

千葉県誕生150周年について

市民クラブ

大塚 健児

問 令和5年は、千葉県誕生150周年、松戸市制施行80周年となり、その記念式典を森のホール21と21世紀の森と広場で開催すると報道発表があったが、記念事業への意気込みを伺う。

答 千葉県誕生150周年事業のスタートとなる記念行事が本市で開催されることは誠に光栄なことであると認識している。現在、記念式典等の詳細は県において内容を詰めているが、市民や松戸ゆかりの方の出演や参加、本市の紹介や魅力を発信する場ともなるよう県に要望しているところである。本市が盛り上がり、みんなでお祝いする機会となるよう全庁的な連携を図り、県へ協力していきたいと考えている。

新型コロナウイルス感染症後遺症対策の進捗について

政策実現フォーラム・社民

DELLI

問 後遺症についての周知方法や受け皿となる医療機関数などについての進捗を伺う。

答 後遺症で悩んでいる人が身近な医療機関などに相談・受診できる体制づくりのため、医療従事者に向け後遺症診療の第

一人者である平畑光一医師による講演会を開催した。後遺症対策として「かかりつけ医でまずは受け止めましょう」と松戸市医師会内で周知を図り、相談・受診できる医療機関は少しずつ増えてきている。また全国に先駆け作成したリーフレットやポスターにより周知にも力を入れている。今後も医師会と連携を図り、適切な医療につながるよう、また社会の理解やサポートが得られるよう取り組んでいく。

緩和ケア病床の機能継承 について

政策実現フォーラム・市民
工藤 鈴子

問 市立東松戸病院廃止から市立総合医療センターの緩和ケア病床建設完了までに1年間の空白が生じる。病床建設完了まで廃止時期を先送りすべきと考えるが本市の考えを伺う。

答 緩和ケア病床開設までの間は総合医療センターにおいて、一般病床の個室等を緩和ケア用の病床として、受け入れを考えている。また東松戸病院閉院後は緩和ケアの担当医師等が総合医療センターへ異動となるため、新型コロナウイルス感染症と一般医療を両立しながら、医療職も含め緩和ケアが必要な患者等の希望に沿えるよう、前向きに検討を進めている。従って東松戸病院廃止の先送りについては現在のところ考えていない。

公立小中学校トイレの 洋式化推進について

立憲民主党
関根 ジロー

問 学校校舎のトイレ洋式化は着実に推進され、令和5年度末に洋式化率70%を見込むとのことだが、学校間では大きな格差がある。洋式化率の平均値を上昇させると同時に、低い学校の洋式化推進も大事な視点で

ある。洋式化率60%未満の学校数および目指す数値目標を伺う。
答 トイレ洋式化率60%未満の学校は、5年度末で、小学校14校、中学校6校の見込みである。今後、長寿命化改修工事の対象校舎は当該工事で実施し、それ以外の校舎は単独工事で改修を行い、標準化を進める。全体では、11年度末までにトイレ洋式化率75%を目指す。



松戸市の死者数について

無所属
鳴原 舞

問 住民基本台帳を基に集計した2022年2月の本市の死者数は541人で、昨年同月の412人から31.3%増えている。また10月の死者数は459人で、昨年同月の365人から25.8%増えている。死者数増

加の状況について分析や調査を行っているか伺う。
答 本市の死者数増加の状況は人口の動向を把握する観点から定点観測を行う中で把握している。厚生労働省にも全国的に死亡者数の増加と出生数の減少が報告されている。本市はこれまで新型コロナウイルス感染症状況把握のため千葉県立保健所等と連携会議を行ってきたが、引き続き国・県の情報とともに人口動向の把握に努めていく。

ヒトパピローマウイルス (HPV)ワクチンについて

公明党
織原 正幸

問 ワクチン接種について、有効性や安全性などの情報は、貴重な接種検討材料であり、未接種者が適切に判断できるようにすることが求められる。9価HPVワクチンの定期接種化に伴う本市の対応について、接種

の対象者へ必ず個別通知を行うべきと考えるが、認識を伺う。
答 9価HPVワクチンについては、その効果や接種の際の注意事項等について、対象者に十分な周知を図っていくことが必要と考えている。現段階で国から通知等はないが、接種者やその保護者への周知啓発方法については個別通知を含め対応を検討していく。HPVワクチンについては、適宜情報収集を図り、適切に対応していく。

常盤平団地の再生について

市民クラブ
広瀬 優斗

問 常盤平団地再生に向け、現段階でUR都市機構とどのような協議をしているのか伺う。
答 UR都市機構との包括連携協定締結後、本市とUR都市機構、団地自治会をメンバーとする三者協議会で議論を重ね、

令和3年度は定期借家契約の導入や地域医療福祉拠点化の着手など、再生に向けて動き始めているところである。またUR都市機構や団地自治会、新京成電鉄株式会社、市内4大学等を構成員としたまつどSDGsキャラバン推進会議を実施し、魅力向上策を提案していただくことになっている。常盤平団地の再生は重要な課題であり、引き続きUR都市機構等と協力して取り組んでいきたいと考えている。

交通空白地域の改善 に向けて

市民クラブ
西田 善昭

問 市内のコミュニティバス運行の現状と新規運行ルートの進捗について伺う。
答 中和倉地区のゆめいろバスは1日30便運行しており、令和3年度は年間約12万人、1日平均337人の方に利用いた

っている。コミュニティバスの導入検討状況については、4年3月より三ヶ月・八ヶ崎地区および高塚新田地区で開始し、現在は運行計画案の作成を行っている。また地域組織が作成した運行ルート案を市および事業者が安全性や定時性の確保等の観点から検証し、三者で精査を行っている段階である。引き続き、地域・行政・事業者で連携・協働しコミュニティバス導入の手に沿い検討を進めていきたい。

市立総合医療センターの 経営について

はじめの会
鷹野 聡

問 松戸市病院事業経営計画(第3次)の着実な執行と同時に、経営の在り方を見直しも必要だと考える。現在の経営形態を、地方独立行政法人化や指定管理者制度導入、民間譲渡へと変更する際に必要な要件を伺う。

答 独立行政法人は、地方公共団体が法人を設立し効率的・効果的な業務運営を行うための制度で、法人化には、法令や組織体制の整備に加え必要な資本金その他の財産的基礎等が必要となる。指定管理者制度導入には、適切な指定管理者の選定や諸条件の十分な協議等が必要となる。民間譲渡には、現在担っている政策医療を譲渡後相当期間の継続を求めると地域医療提供体制の確保が必要となる。

交通不便地域について

市民クラブ
大和山 太郎

問 六実・六高台地区の多くは交通不便地域であり、昨今は非常に高齢化率も高くなっている。市は六実・六高台地区の交通不便地域の状況をどのように把握しているのか。また具体的な解決方法の考えや課題等につ

いて伺う。
答 令和2年7月に六実・六高台地域を運行する民間バスルートの改編により、沿線地域から東武鉄道の駅へアクセスがでなくなり、同地域の移動利便性に影響が出ていると認識している。同地域は交通不便地域であるため移動に関する実態調査を4年7月に実施し、現在結果の分析等を行っている。地域に合った移動利便性改善の方針を4年度中に決める予定である。

ユニバーサルシート について

無所属
湯浅 文

問 障がい児者のみならず高齢者にとっても必要なユニバーサルシートについて、市の公共施設への設置に向けて、取り組んでいく姿勢を伺う。
答 国の障害者基本計画では、社会的障壁の除去を強力に推進

する方向性が示されており、公共施設のトイレにユニバーサルシートを整備することは大変重要だと考える。本市の公共施設においては、健康福祉会館、小学校5校、中学校3校に設置している。設置には一定のスペースが必要であるといった課題もあるが、ユニバーサルシートの必要性について、庁内関係各課へ呼びかけ、普及に努めていく。



安全・安心の街づくりについて

無所属

山中 啓之

問 市道や橋の破損等を市民が見つけた際に、スマートフォン等で撮影した画像を行政と簡便に共有し、迅速に改善等の対応につなげるちばレポのようなシステム構築ができないか伺う。

答 現在、写真による情報提供については、千葉県の電子システムを活用しているが、スマートフォン操作の過程が多い。そのためシステムを一新し、操作を簡素化することにより利用者の利便性が向上され、市民サービスに寄与するものと考えている。システム構築については、まずは関連部署との協議に着手するとともに先進自治体を調査研究し、本市独自のシステムを具体的に検討していきたい。



補聴器購入費用補助について

日本共産党

山口 正孝

問 ①補聴器利用の実態調査の状況②高齢者が聞こえの状態を改善して周囲の人と交流しやすくするための補聴器購入補助の必要性について伺う。

答 ①令和3年11月から12月に矢切老人福祉センターの来館者にアンケート調査を実施した。回答者94人中、聞こえ方に不自由を感じる方は22人、うち補聴器を持っている方は7人であった。また現在「いきいき安心プランⅧまつど」の策定に向け耳の聞こえの問題による周囲との交流の難しさを把握する調査を実施している②認知症予防の観点から重要と認識しているが他の支援制度等との関係を考えるのと、現時点では補聴器購入費用の補助は難しいと考えている。

放課後児童クラブについて

立憲民主党

二階堂 剛

問 放課後児童クラブは学校施設を活用しているが、利用児童数の増加で分室やトイレ不足などの問題が生じている。多人数放課後児童クラブの施設整備について、市の考えを伺う。

答 放課後児童クラブの施設整備は、児童の安全性確保のため学校施設の借用を第一に進めており、施設の構造やレイアウト上、分室が本室と離れる、トイレが使いづらいなどの状況が発生することがある。育成場所が一つにまとまると、職員が育成に注力でき負担も少なくなるなどの利点もあるが、公共施設の適正配置などを踏まえ、既存施設の有効活用や民間施設の活用を検討し、関係機関との協議や連携を継続し対応していく。

松戸運動公園野球場の改修について

政策実現フォーラム・市民

原 裕二

問 松戸運動公園野球場を高校野球で使用する硬式球使用可能とするための①防球ネットを現行の20メートルから30メートルに引き上げる改修②球場周辺にネットを張る改修③球場の内側に傘状にネットを延ばす改修

について、それぞれの可能性と市の考えを伺う。
答 いずれの改修方法についても、新たな防球ネットを球場や公園内の上空に設置することになる。また安全確保のために新たな支柱の設置と球場全体の改修、強風や台風時のネット撤去など運用面も含めた課題の検討が必要である。松戸運動公園スポーツ施設の老朽化に伴う改修を段階的に進める中で、方策を研究していきたい。

生産者に寄り添った支援について

市民クラブ

深山 能一

問 世界情勢が見通せず、事業経営高騰の影響を長期にわたり受けることが考えられる農業従事者に対し、どのような支援を講じていくのか伺う。

答 本市としては、日々変化していく社会情勢に対して柔軟に対応していく必要性を感じており、農業従事者等から、一時的な補助だけでなく将来への安心を必要としていることを確認し、農業経営支援事業を令和4年10月から実施している。本事業は4年度限りの緊急的なものであるため、今後も農業者を支援するべく5年度に向けて新たな施策を検討しているところであり、関係機関との連携を深め、農業者が安心して農業経営に従事できるように努める。

放課後児童クラブ支援員・補助員の処遇改善について

日本共産党

宇津野 史行

問 国・県補助金を活用した、令和5年度以降の放課後児童クラブ支援員・補助員の処遇改善の見通しについて伺う。

答 国・県補助金である子ども・子育て支援交付金および千葉県子ども・子育て支援補助金については、令和4年11月に3年度分の実績報告内容の再点検を行い、1億5973万8千円の報告をし、現在内閣府および千葉県において金額の確認を行っている。処遇改善については、雇用の安定化は重要であることから、4年10月から追加となった放課後児童支援員等処遇改善事業も併せて活用し、物価高騰等の影響や最低賃金の改定状況を考慮した上で引き続き取り組みを検討していく。

北小金駅周辺のまちづくりについて

市民クラブ

大谷 茂範

問 北小金駅南口東地区第一種市街地再開発事業の進捗状況および本市と事業の関わり方について伺う。

答 現在は北小金駅南口東地区市街地再開発準備組合発注による現況測量や公共施設の基本設計等の各種業務を実施しており、令和5年度中の組合設立認可に向けて順調に進んでいると聞いている。今後については10年度の事業完了を目指している。準備組合より伺っている。また本市の関わり方については、公共施設として整備する広場等に関する技術的な協議、補助金の交付手続き等多岐に及んでいる。引き続き活動を支援し、組合施行による市街地再開発事業の実現を目指していく。

不妊治療について

無所属

中村 典子

問 現在人工授精や体外受精などの不妊治療に公的保険が適用され自己負担が3割となったが、タイムラプスなどの先進医療は保険適用外である。千葉県内初として先進医療にも助成金を出し、さらなる不妊治療への

助成を拡充するべきと考えるが、本市の認識を伺う。
答 母子保健事業の意見聴取の場である松戸市母子保健連絡協議会で、保険適用外治療における経済的課題を共有した。その上で、協議会の構成員である産婦人科医等の専門家から、助成事業開始を前向きに検討してもよいのでは、との意見もあつた。本市においてもさらなる調査・研究を行い、不妊治療の助成事業について検討していく。

マスク問題とコロナワクチン接種について

無所属

大橋 博

問 マスクの着脱について文部科学省は「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」を提示しているが、市内小中学校の現場の状況を伺う。また子どものワクチン接種による副反応疑いの

報告件数や症状等を明らかにし、今後発送される接種券と併せて情報を案内できないか伺う。
答 現在市内の小中学校では場面に応じたマスクの着脱を促しており、今後体育や部活動等の運動時にマスクを外すことも進めていく。副反応疑いの事例については詳細な内容を厚生労働省が公表しているため、同省ホームページのQRコード等を接種券の案内に記載するなどの情報提供を検討していきたい。

3月定例会の開催予定

令和5年松戸市議会3月定例会は、2月21日(火)から3月23日(木)まで、いずれも午前10時より開催する予定です。
 請願・陳情は、2月10日(金)正午が提出期限です。

日程	主な内容
2月21日(火)	招集日・本会議(施政方針・議案提案理由説明)
22日(水)	各常任委員会(先議議案審査)
28日(火)	本会議(先議議案採決)
3月1日(水)	〃(一般質問)
2日(木)	〃(一般質問)
3日(金)	〃(一般質問・議案質疑)
6日(月)	総務財務常任委員会
7日(火)	健康福祉常任委員会
8日(水)	教育環境常任委員会
10日(金)	建設経済常任委員会
13日(月)	予算審査特別委員会
15日(水)	〃
17日(金)	〃
20日(月)	〃
23日(木)	本会議(議案等の採決)

※このほか随時、委員会が開催される場合があります。また開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

議会傍聴について

市議会では、新型コロナウイルス感染症対策に努めています。
 傍聴席に入室される際には、備え付けのアルコール消毒液での手指消毒、マスクの着用をお願いいたします。
 傍聴についてはお問い合わせいただくかホームページでご確認ください。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課
 TEL 047(366)7381

新型コロナウイルス感染症拡大防止への取り組み

12月定例会においても、引き続き、換気、消毒の徹底等とともに、以下のとおり感染拡大防止策を図りました。

- 一般質問は発言時間を通常60分から25分に短縮しました。議案質疑は質疑時間を通常30分から10分に短縮しました。

松戸市議会の情報をホームページで公開しています

本会議の様子は、松戸市ホームページのまつど市議会の「インターネット議会中継」から、お手持ちのパソコン、スマートフォンおよびタブレット型端末等でご覧いただけます。



議会中継



松戸市議会

検索

声の議会だよりをご利用ください

松戸朗読奉仕会の協力を得て視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物を提供しています。詳細は下記までお問い合わせください。

●問い合わせ先
 松戸市障害者福祉センター
 (ふれあい22内)
 TEL 047(383)7111



スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」を利用して議会だよりを配信しています。アプリは無料でダウンロードできます。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

議会選出監査委員

議会選出監査委員の選任に同意しました。

箕輪 信 矢 岩瀬 麻 理

庁舎整備に関する特別委員会設置

庁舎整備に関する検討・協議を行うため、委員11人からなる特別委員会を設置しました。

庁舎整備に関する特別委員会

委員長	末 松 裕 人	副委員長	織 原 正 幸
	ミール 計 恵		岡 本 優 子
	大 谷 茂 範		関 根 ジロ一
	大 原 裕 二		伊 東 英 一
	飯 箸 公 明		市 川 恵 一
	深 山 能 一		

(令和4年12月23日現在)

意見書2件提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、下記の意見書を提出しました。

- 帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書
- 知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書

編集の窓



松戸市議会は令和4年11月20日に執行されました市議会議員選挙により新人12名が加わり、新たな陣容でスタートしました。
 松戸市はさまざまな課題が山積しており、市議会としても積極的に課題解決に向けて取り組んでまいります。

さて話は変わりますが、松戸市内の江戸川は、「水辺の健康エコロード」として整備されているのはご存知でしょうか。

土手には約4キロごとに「川の一里塚」があり、ベンチなどのほか健康遊具やトイレが整備されています。

また江戸川松戸フラワーラインは、約2ヘクタールもの河川敷に広がっているお花畑で、春にポピーが秋にはコスモスが咲き乱れ、通る人々を楽しませてくれます。

まもなく立春となります。暖かくなった折には、ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

広報委員会

委員長	伊 東 英 一
副委員長	岡 本 優 子
委員	嶋 村 新 一
	井 出 昌 子
	広 瀬 優 斗
	大 和 山 太 郎
	西 田 善 昭
	戸 張 友 子
	鈴 木 智 明
	大 谷 茂 範
	工 藤 鈴 子



次回発行予定は5月1日(月)です